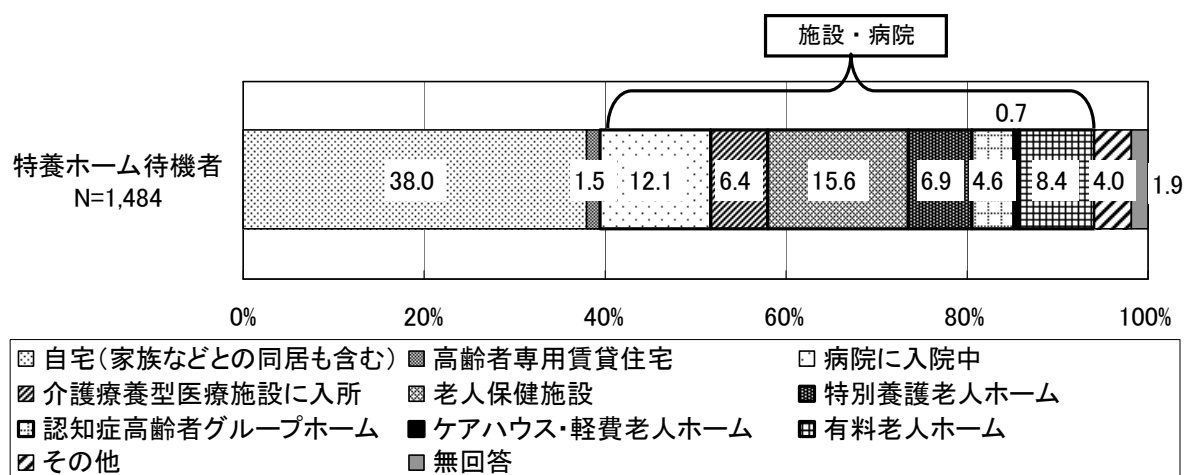


13. 特別養護老人ホーム入所待機者調査

(1) 現在の生活の場

ア. 現在生活をしている場所は、「自宅」が4割弱と最も多くなっている。

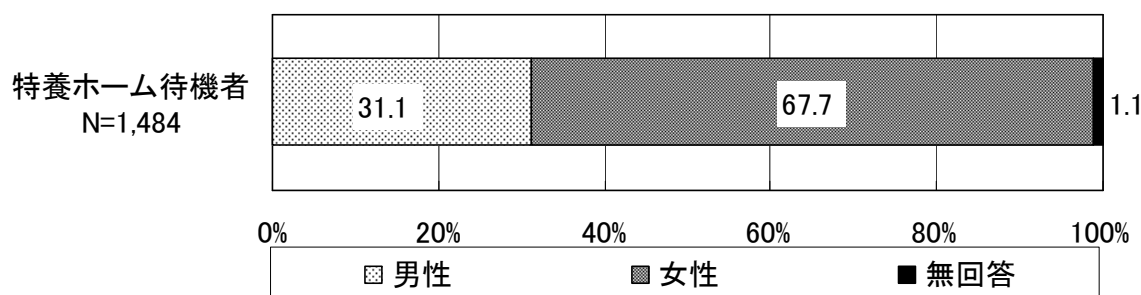
イ. 施設や病院が5割強となっているが、そのうち、「老人保健施設」が最も多くなっている。



図表 123 現在の生活の場 (単数回答)

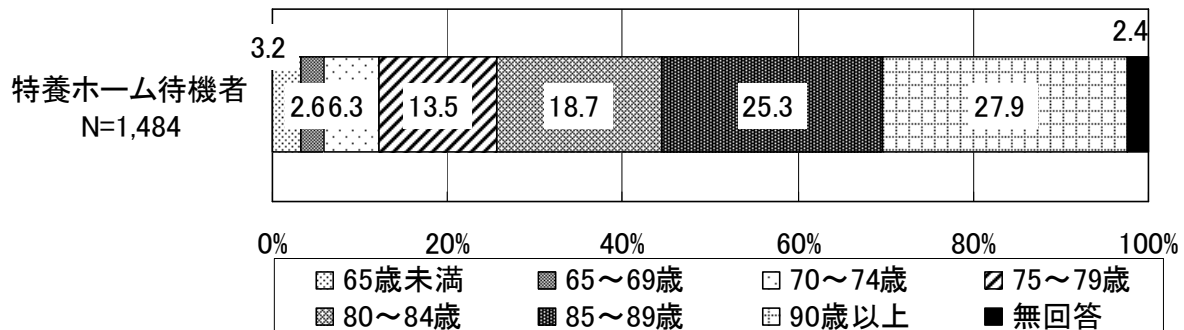
(2) 本人・家族の状況

ア. 7割弱を「女性」が占めている。

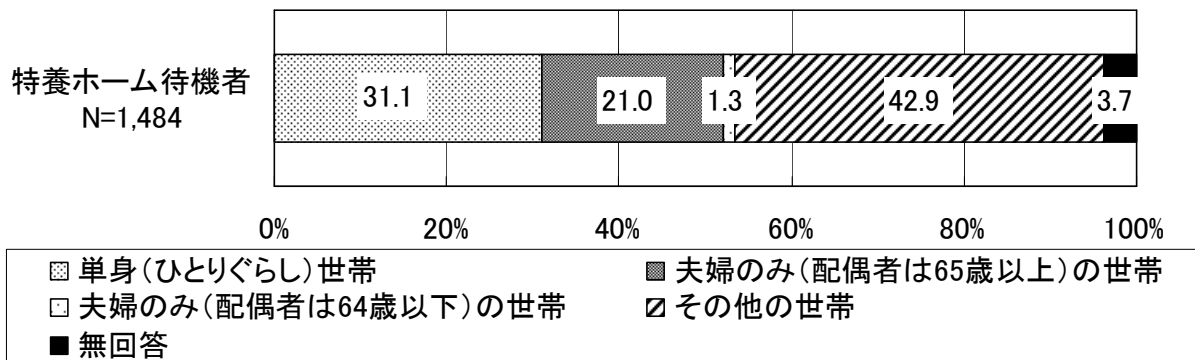


図表 124 性別 (単数回答)

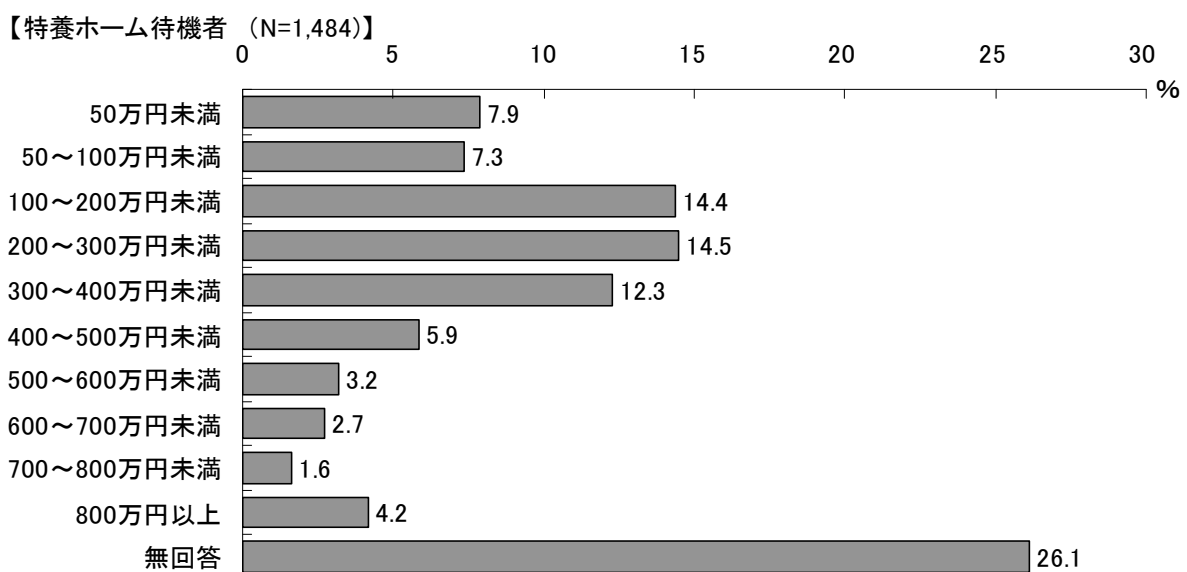
- イ. 85 歳以上（「85～89 歳」「90 歳以上」の合計）が 5 割以上を占めている。
- ウ. 高齢者のみ世帯（「単身（ひとりぐらし）世帯」「夫婦のみ（配偶者は 65 歳以上）の世帯」の合計）が 5 割以上を占めている。
- エ. 世帯の年収は、「100～200 万円未満」「200～300 万円未満」の割合が多くなっている。



図表 125 年齢（数量回答）



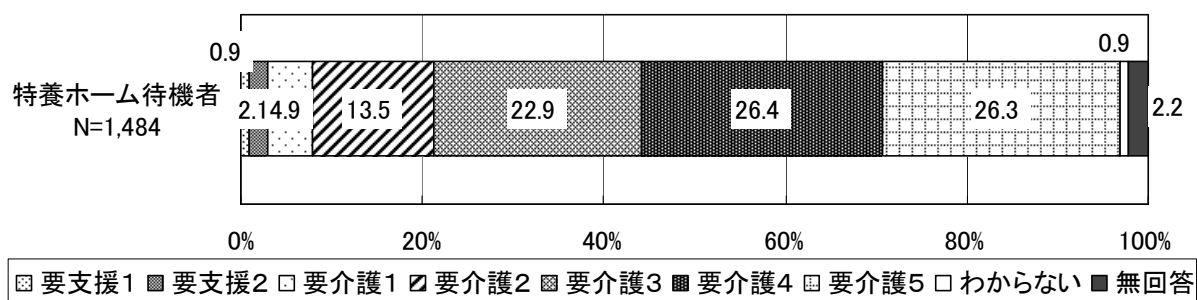
図表 126 世帯構成（単数回答）



図表 127 世帯の年収（単数回答）

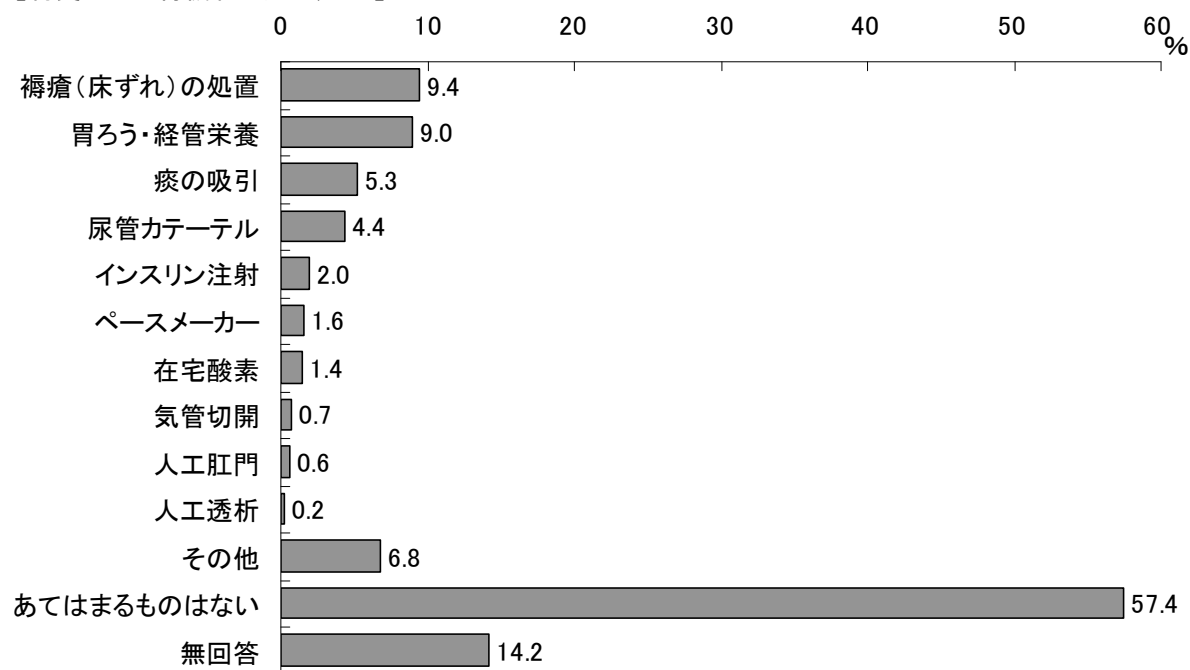
(3) 入所待機者の身体的状況

ア.「要介護4」「要介護5」がともに3割弱で、合計すると半数以上を占めている。
 イ. 医療器具・医療処置の状況をみると、「あてはまるものはない」が6割弱を占めている。「褥瘡（床ずれ）の処置」「胃ろう・経管栄養」がそれぞれ1割弱となっている。



図表 128 要介護度（単数回答）

【特養ホーム待機者（N=1,484）】

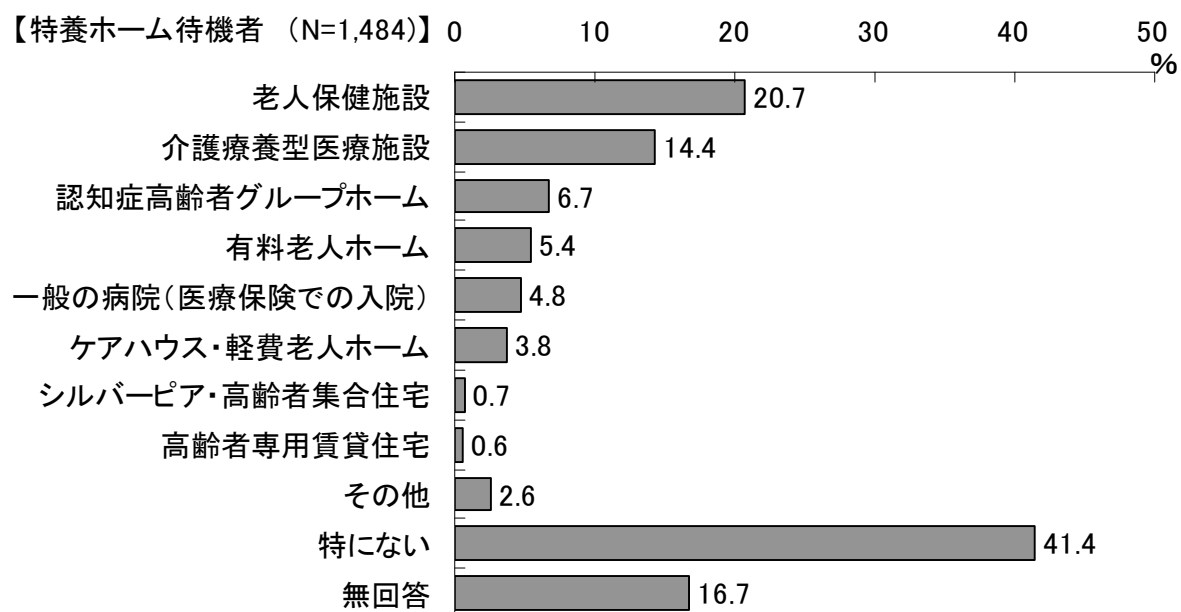


図表 129 医療器具・医療処置の状況（複数回答）

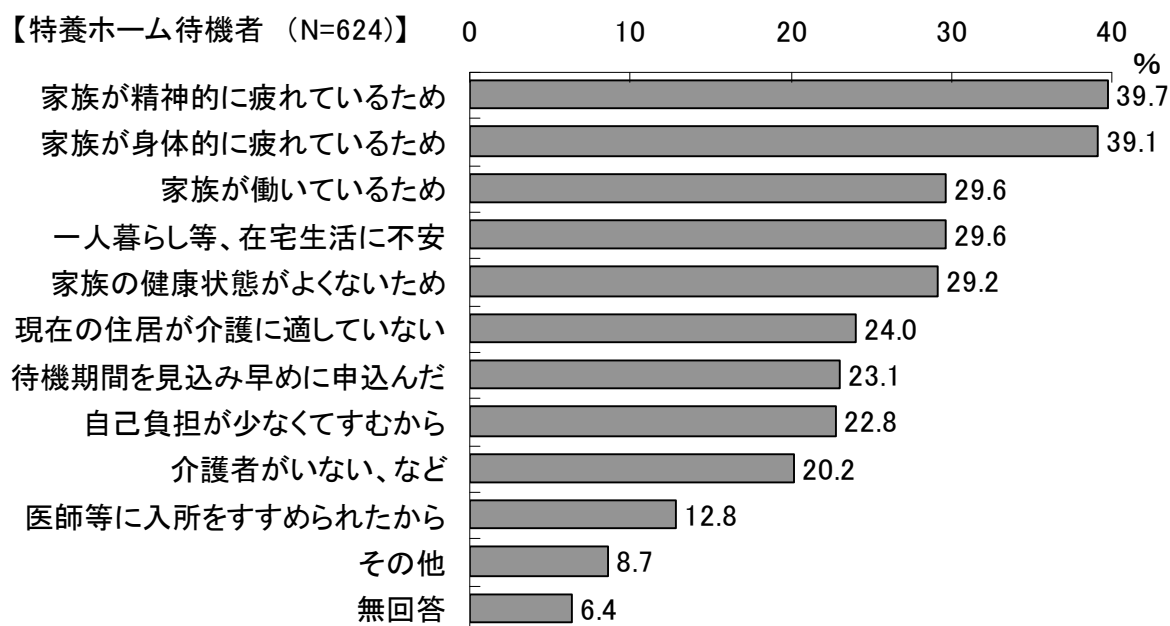
(4) 特別養護老人ホーム以外の入所の申込み状況

ア. 特別養護老人ホーム以外の入所・入院等の申込み状況をみると、「老人保健施設」が2割強と最も多くなっている。次いで「介護療養型医療施設」が多くなっている。

イ. 特別養護老人ホーム以外に施設等を申し込んでいる理由は、「家族が精神的に疲れているため」「家族が身体的に疲れているため」がそれぞれ4割弱となっている。



図表 130 特別養護老人ホーム以外の入所申込み状況 (複数回答)

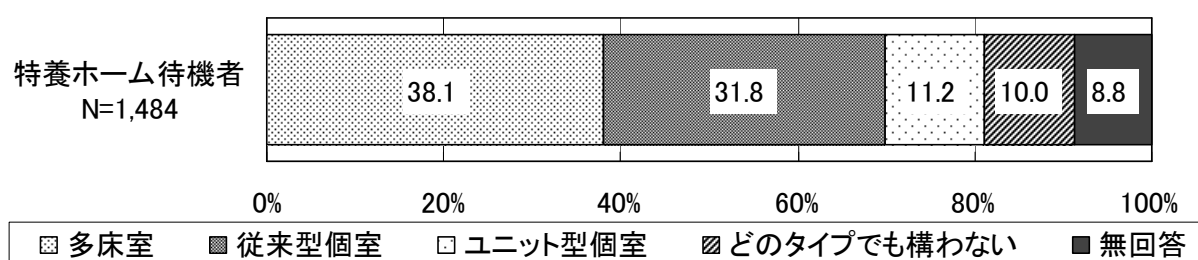


図表 131 施設等を申し込んでいる理由 (複数回答)

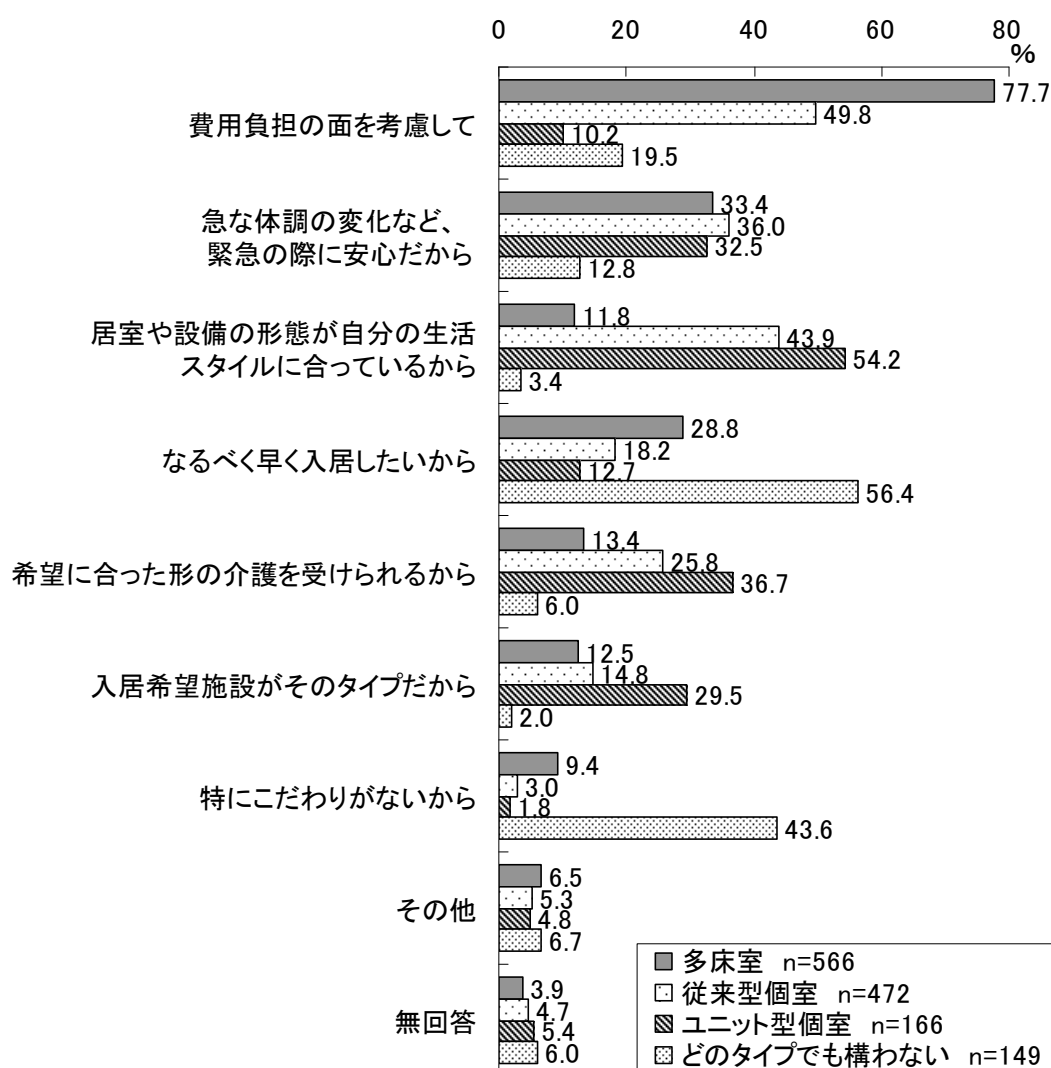
(5) 希望する特別養護老人ホームのタイプ

ア.「多床室」が4割弱と最も多くなっている。次いで「従来型個室」が3割強となっている。

イ.『多床室』を希望する人の8割弱が「費用負担の面を考慮して」という理由をあげている。また、『従来型個室』を希望している人では、「費用負担の面を考慮して」が5割弱、「居室や設備の形態が自分の生活スタイルに合っているから」が4割強となっている。『ユニット型個室』では、「居室や設備の形態が自分の生活スタイルに合っているから」が5割強となっている。



図表 132 希望する特別養護老人ホームのタイプ (単数回答)

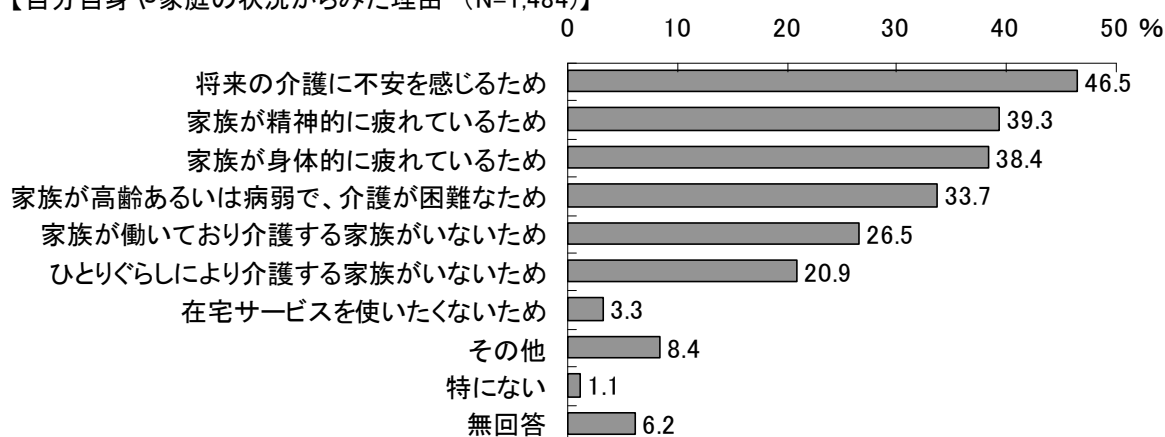


図表 133 希望する特別養護老人ホームのタイプ×理由 (複数回答)

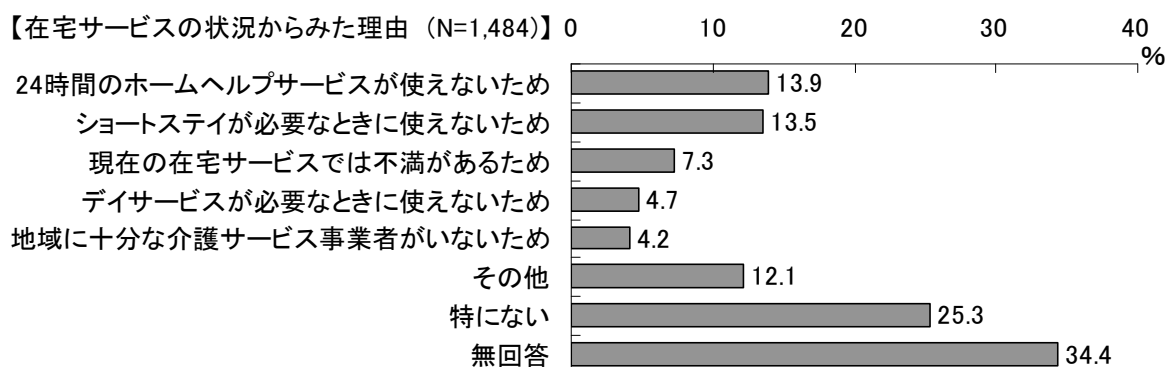
(6) 特別養護老人ホームを申し込んだ理由

- ア. 自分自身や家庭の状況からみた理由は、「将来の介護に不安を感じるため」が5割弱と最も多く、次いで「家族が精神的に疲れているため」「家族が身体的に疲れているため」がともに4割弱となっている。
- イ. 在宅サービスの状況からみた理由は、「24時間のホームヘルプサービスが必要なときに使えないため」「ショートステイが必要なときに使えないため」がともに1割強となっている。
- ウ. 特別養護老人ホームの特徴からみた理由は、「24時間介護が受けられるため」が8割と最も多く、次いで「専門的な介護が受けられるため」が6割となっている。

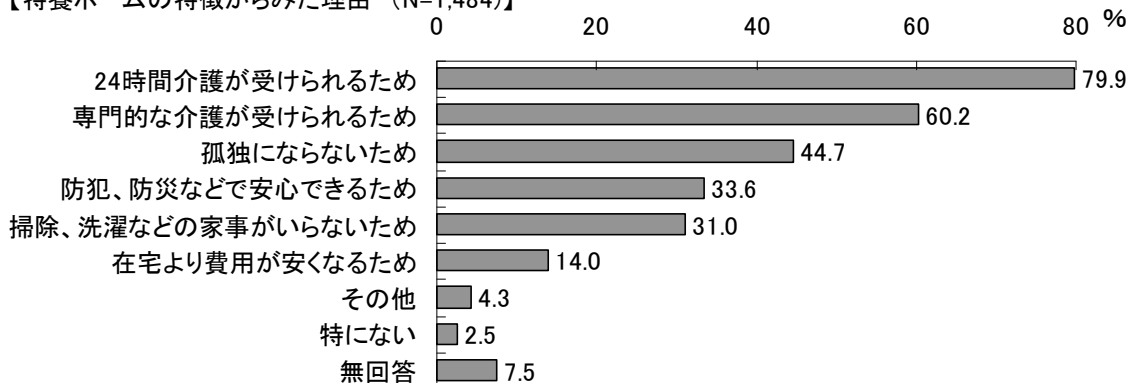
【自分自身や家庭の状況からみた理由 (N=1,484)】



【在宅サービスの状況からみた理由 (N=1,484)】



【特養ホームの特徴からみた理由 (N=1,484)】



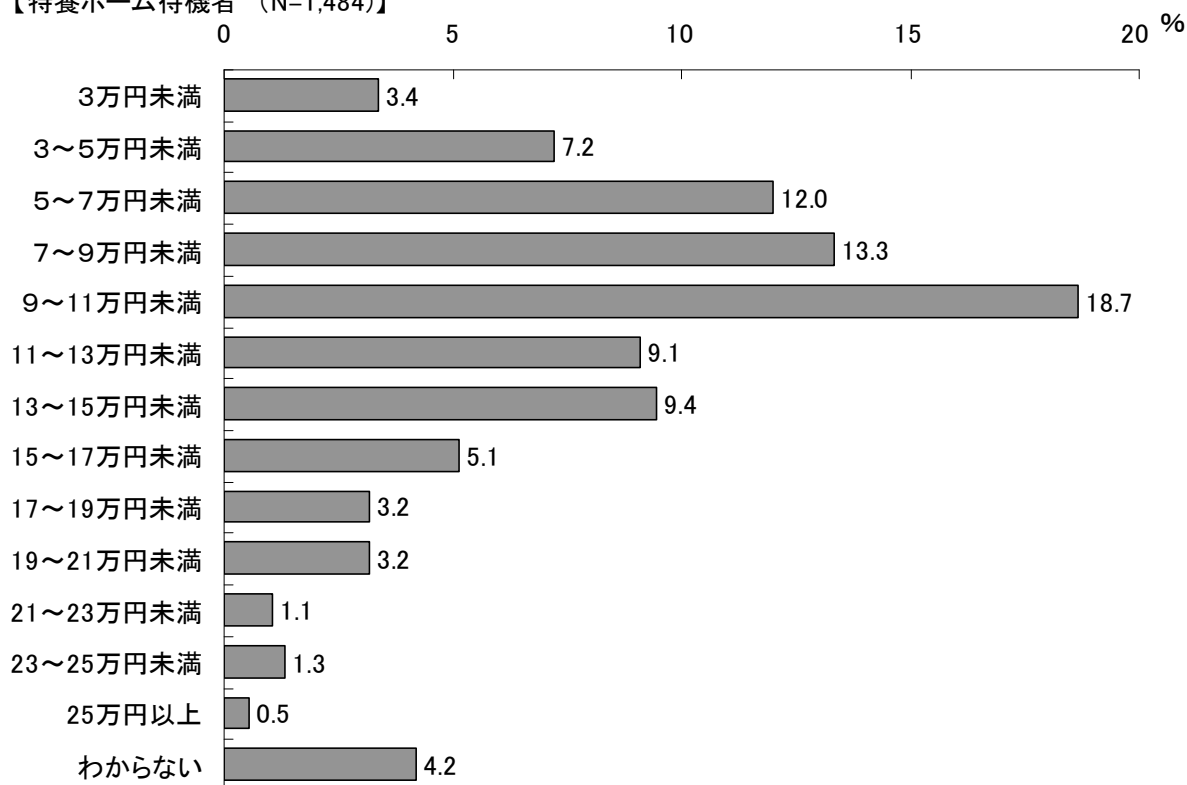
図表 134 特別養護老人ホームを申し込んだ理由／3種 (複数回答)

(7) 特別養護老人ホームの費用負担

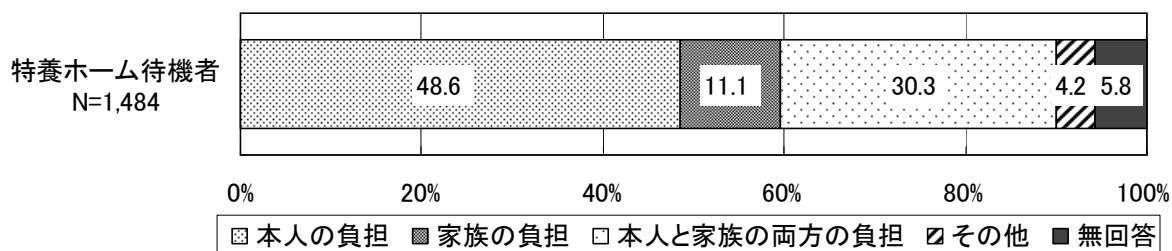
ア. 1 か月あたりの負担可能な最大額は、「9～11 万円未満」が2 割弱と最も多くなっている。また、「9～11 万円未満」を含め「11 万円未満」が5 割以上を占めている。

イ. 費用負担者は、「本人」が5 割弱と最も多くなっている。

【特養ホーム待機者 (N=1,484)】

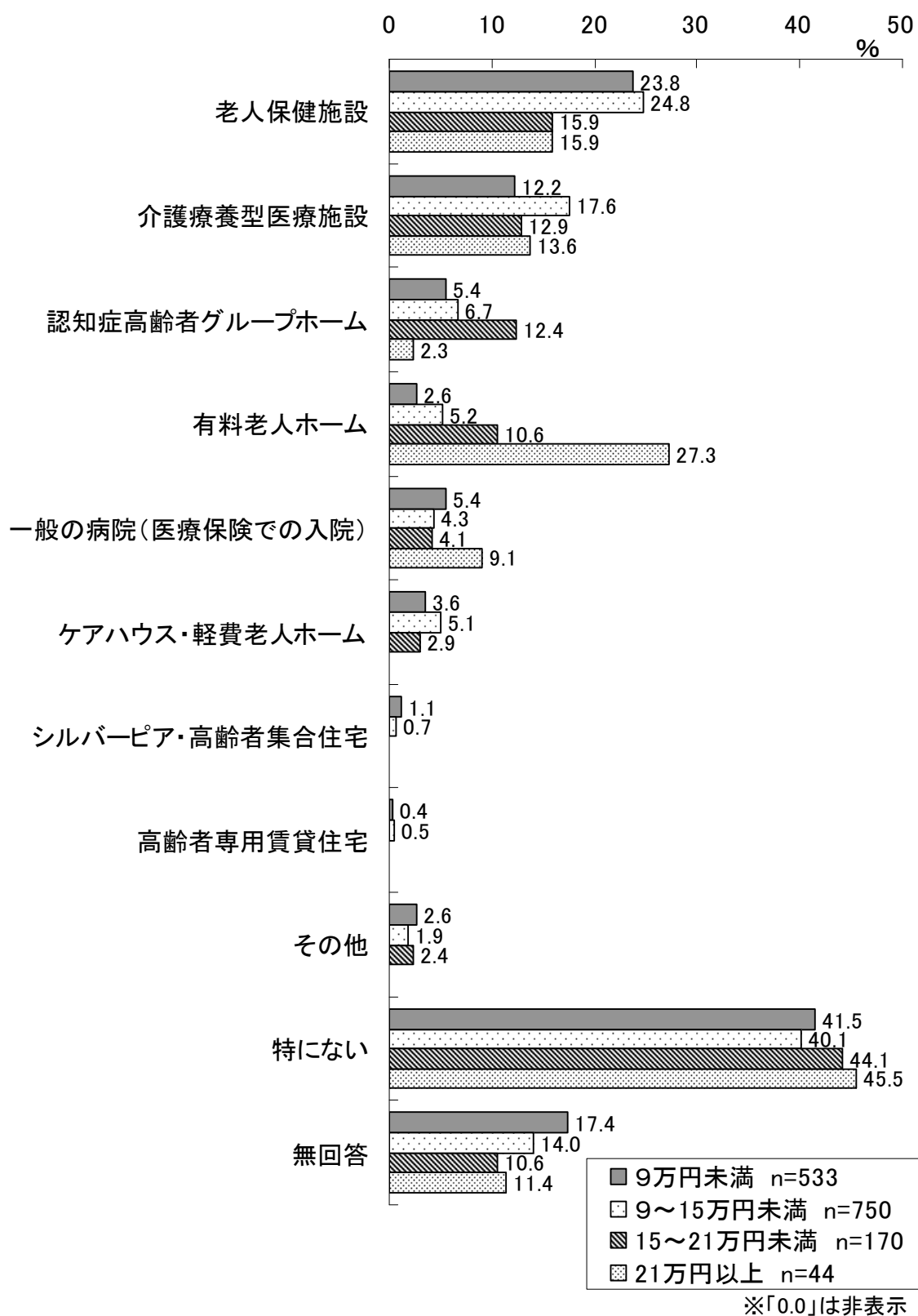


図表 135 特別養護老人ホームの1 か月あたりの負担可能額 (単数回答)



図表 136 費用負担者 (単数回答)

ウ. 特別養護老人ホームの1か月あたりの負担可能額別に特別養護老人ホーム以外の入所・入院等の申込み状況をみると、21万円以上で「有料老人ホーム」の申込みの割合が高くなっている。

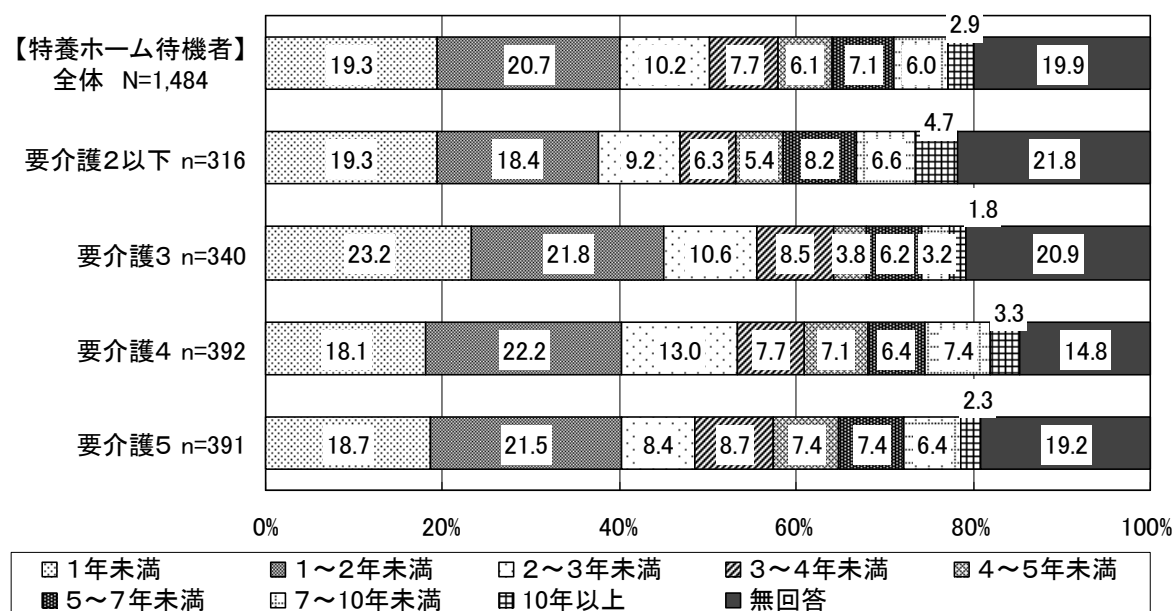


図表 137 1か月あたりの負担可能額×申込み施設 (複数回答)

（８）最初に特別養護老人ホームの申込みをした時期

ア. 「１年未満」「１～２年未満」がそれぞれ２割程度となっている。

イ. 要介護度と申込みをした時期との関係はほとんどみられない。

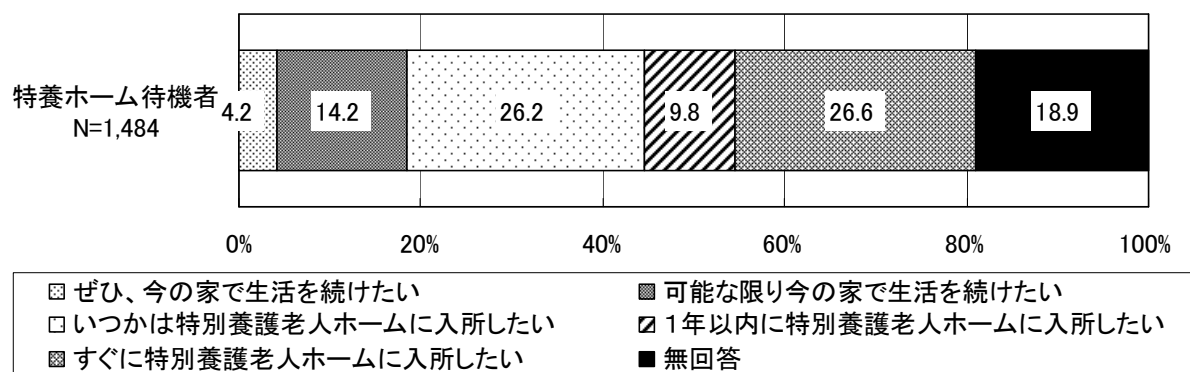


図表 138 要介護度×最初に申込みをした時期（数量回答）

（９）サービス等の充実による在宅生活の希望

ア. 在宅サービスの提供や制度の充実が見込めれば、在宅での生活を希望するかどうかをみると、「すぐに特別養護老人ホームに入所したい」「いつかは特別養護老人ホームに入所したい」がそれぞれ３割弱となっている。

イ. 在宅生活を希望するのは、２割弱（「可能な限り今の家で生活が続けたい」、「ぜひ、今の家で生活が続けたい」の合計）となっている。

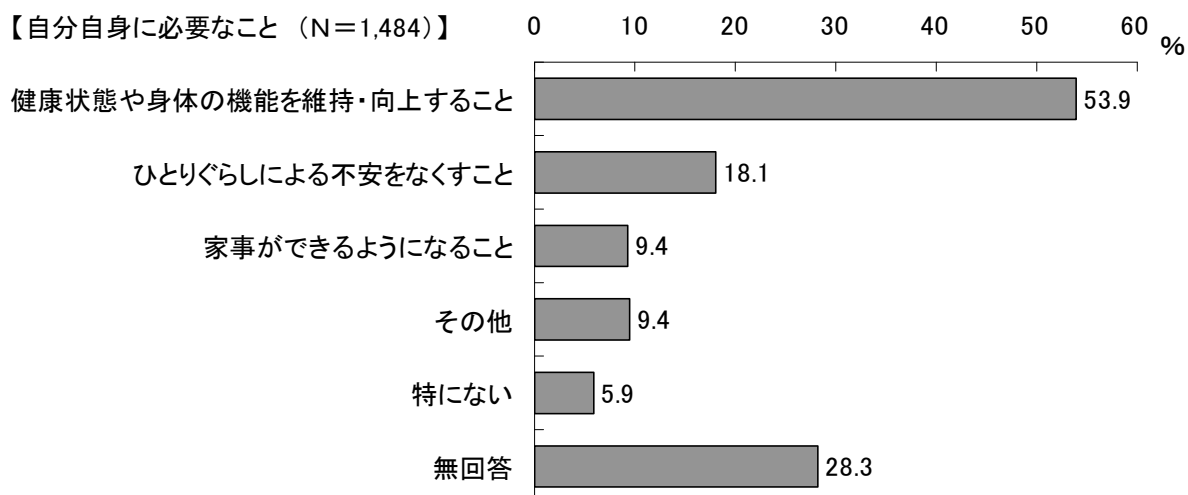


図表 139 在宅生活の希望（単数回答）

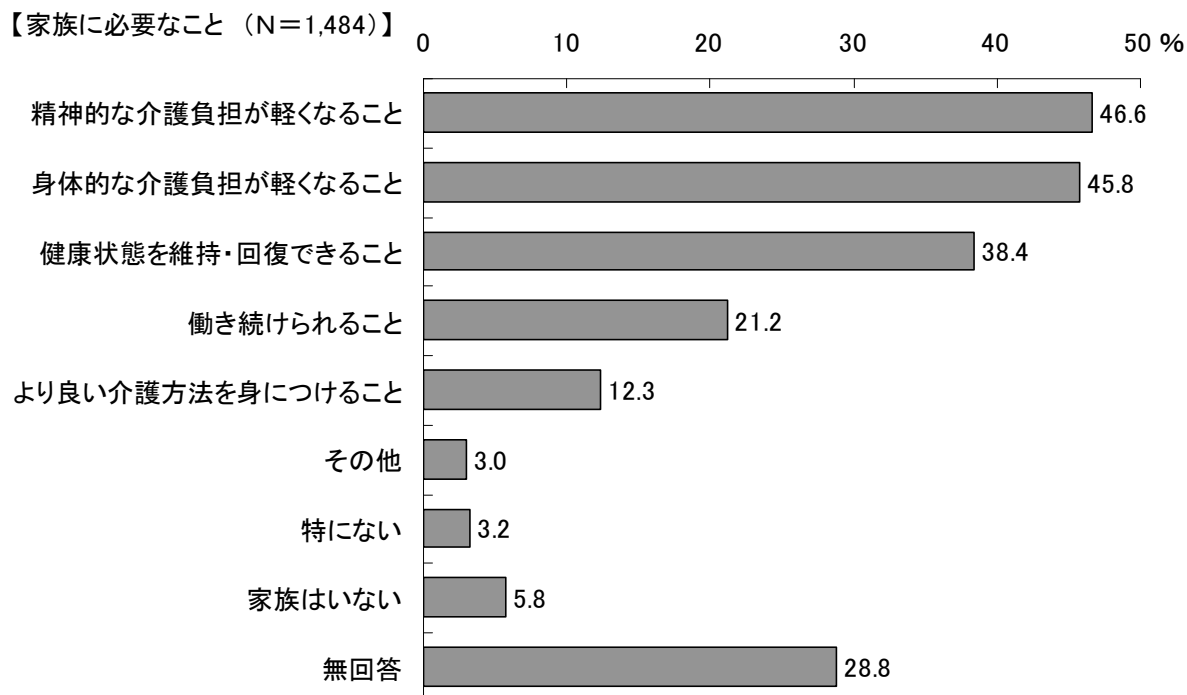
(10) 在宅生活を続けるために必要なこと

ア. 特別養護老人ホームへ入所するまでの間、在宅生活を続けるために『自分自身に必要なこと』は、「健康状態や身体の機能を維持・向上すること」が5割強と最も多くなっている。

イ. 『家族に必要なこと』は、「精神的な介護負担が軽くなること」が5割弱、「身体的な介護負担が軽くなること」が5割弱と最も多くなっている。次いで「健康状態を維持・回復できること」が4割弱となっている。



図表 140 在宅生活を続けるために必要なこと／自分自身に必要なこと (複数回答)

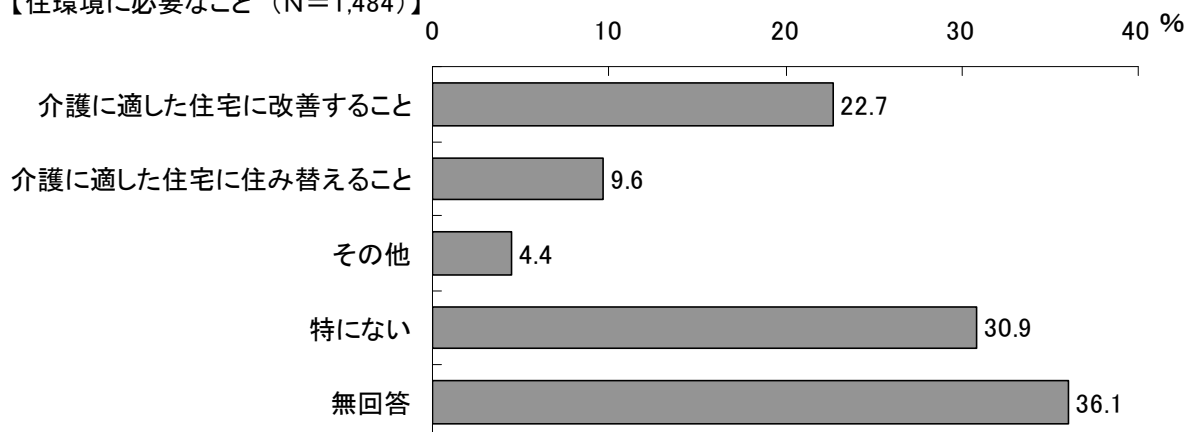


図表 141 在宅生活を続けるために必要なこと／家族に必要なこと (複数回答)

ウ. 住環境に必要なことは、「介護に適した住宅に改善すること」が2割強となっている。

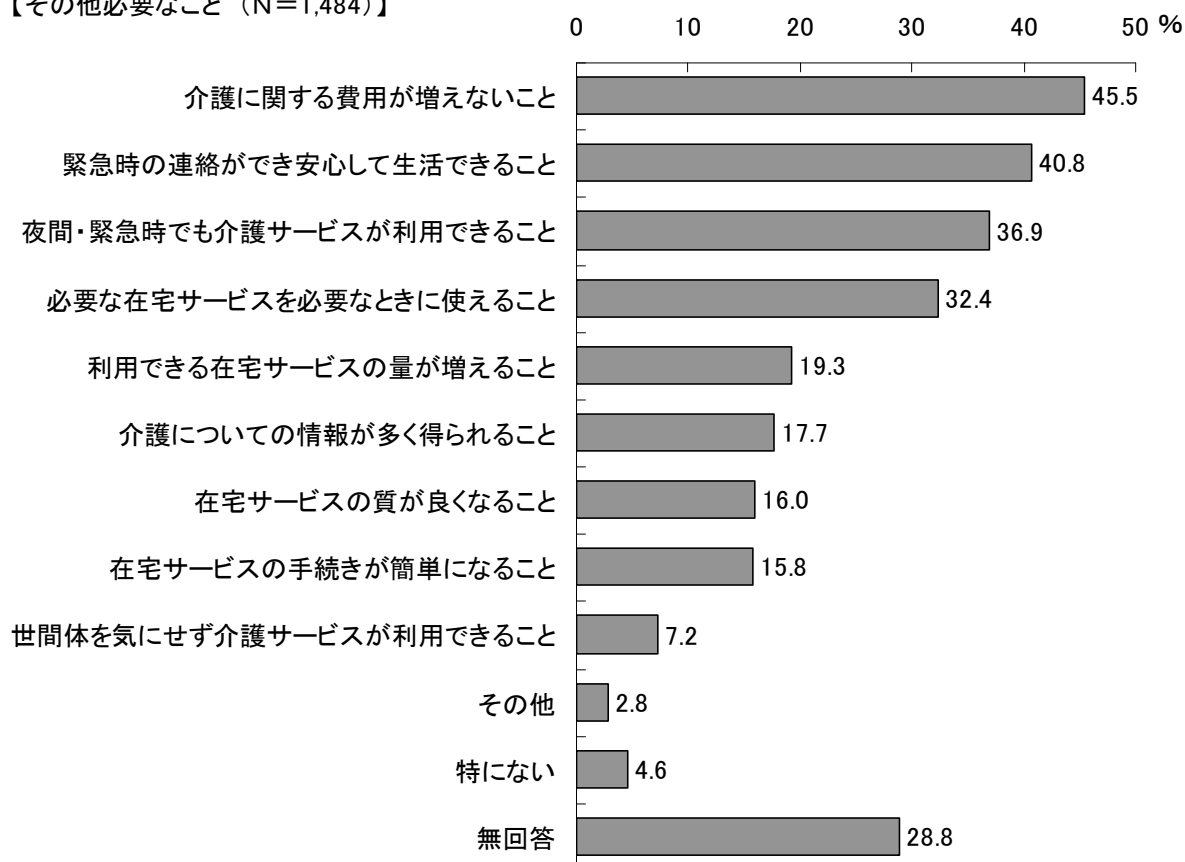
エ. その他必要なことは、「介護に関する費用が増えないこと」が5割弱と最も多く、次いで「緊急時の連絡ができ安心して生活できること」が4割強、「夜間・緊急時でも介護サービスが利用できること」が4割弱、「必要な在宅サービスを必要となときに使えること」が3割強となっている。

【住環境に必要なこと (N=1,484)】



図表 142 在宅生活を続けるために必要なこと／住環境に必要なこと (複数回答)

【その他必要なこと (N=1,484)】



図表 143 在宅生活を続けるために必要なこと／その他必要なこと (複数回答)